

# 基本方針説明文の修正

## 計画の方向性を分かりやすく表現するため、基本方針説明文の修正を行う

### 基本方針Ⅰ

#### 安心な“暮らし”の実現

自身の状況に応じたバリアフリー対応や入居を拒まない賃貸住宅の供給促進、  
また、地域に住み続けるために、災害時も含めた地域としての  
様々な取組みを図ります。

### 基本方針Ⅱ

#### 良質な“住まい”の実現

耐震や省エネ等の性能を備えた住宅の供給、  
増加する経年住宅への適切な対応、適正な維持管理による長寿命化の促進、  
また、中古住宅市場の活性化等を図ります。

### 基本方針Ⅲ

#### 住みやすい“まち”の実現

人口減少社会の到来に対応するため、  
生活するうえで必要な都市機能の集約による利便性の向上、  
本市の特徴を活かしたまちづくりなどの取組みを図ります。

## 基本方針 I：安心な“暮らし”の実現

「安心な“暮らし”」とは  
**誰もが住宅に困窮することのない、  
いつでも安心な暮らし**

- ・ 保証人不在や家賃問題等により、  
住宅確保に困っている方からの相談あり ※1
- ・ (震災後に) 住宅再建へ課題を抱えている世帯あり ※2

※1 居住支援協議会のあんしん住み替え相談会での相談件数〔887件(H27)、770件(H28)、959件(H29)、589件(H30)〕

※2 平成28年熊本地震にかかるアンケート調査報告書〔H30.10〕

## 基本方針Ⅱ：良質な“住まい”の実現

「良質な“住まい”」とは

**長く住み続けることができる住まい  
適正に管理されている住まい**

- ・ 介護が必要になった場合でも  
自宅に住み続けたい高齢者の居住意向あり ※1
- ・ 熊本地震後に住宅の耐震化に関する意識の高まりが見られる ※2
- ・ 現在の住まいに満足していない方もいる ※3
- ・ 住宅の腐朽・破損の有無は、空家の方が割合が高い ※4

※1 熊本市日常生活圏域ニーズ調査〔H25〕

※2 熊本市建築物耐震改修促進計画〔改訂版H30.4〕

※3 平成30年度熊本市第7次総合計画市民アンケート〔H31.3〕

※4 H25住宅・土地統計調査（住生活基本計画P.9参考）

## 基本方針Ⅲ：住みやすい“まち”の実現

### 「住みやすい“まち”」とは 利便性が高く、ずっと住み続けたいまち

- ・ 日常生活サービス施設（スーパーや病院など）が充実している地域への居住ニーズが高い※<sub>1</sub>
- ・ 居住環境（街並み・日照・風通し・緑化等）が良好であると感じている市民の割合は高いため※<sub>2</sub>、熊本らしい清らかな地下水や自然豊かで魅力溢れるまちを維持していく必要がある

※<sub>1</sub> 平成27年度市政アンケート調査結果報告書

※<sub>2</sub> 平成30年度熊本市第7次総合計画市民アンケート〔H31.3〕

基本方針Ⅰ 安心な“暮らし”の実現

**誰もが住宅に困窮することのない、  
いつでも安心な暮らしを目指します。**

多様化する住宅のニーズに対応できるよう、  
入居を拒まない賃貸住宅の供給促進、  
また、地域に住み続けるために、  
「おたがいさま」で支え合う地域づくりに取り組みます。

基本方針Ⅱ 良質な“住まい”の実現

**長く住み続けることができる住まい、  
適正に管理されている住まいを目指します。**

耐震やユニバーサルデザイン、省エネ等の性能を備えた  
災害にも強い住宅の供給促進や  
増加する経年住宅への適切な対応、  
中古住宅市場の活性化等に取り組みます。

基本方針Ⅲ 住みやすい“まち”の実現

**利便性が高く、  
ずっと住み続けたいまちを目指します。**

人口減少社会の到来に対応するため、  
生活するうえで必要な都市機能の維持・確保による  
利便性の向上、本市の特徴をいかした  
まちづくりに取り組みます。